

出題傾向と対策

龍谷大学の英語

●2025(2026入試)年度は、「公募推薦入試〔総合評価型〕」、「一般選抜入試前期日程・中期日程・後期日程」とも文系型・理系型の受験型に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。また、経済学部・法学部・政策学部の「専門高校・専門学科・総合学科対象推薦入学試験」は、同一試験日の問題を使用しました。

1 これが傾向

例年通り、すべてマーク式で4つのパートに分かれ、35問が出題されています。

パートⅠは800字程度の長文読解問題で、15の設問に答えるものです。空所補充問題や下線部の意味や内容を答える問題、文章の大意をとる問題など様々な形式の問題があります。

パートⅡは500語程度の長文読解問題で、5つの設問に答えるものです。段落の内容を問う問題や、文章全体の内容を問う問題があります。

パートⅢは会話空所補充問題で、AとBの2つに分かれています。Aは4行からなる会話問題で、5題出題されます。それぞれ空所が1つありますので、そこを埋めます。Bは長めの会話を読み、その中の5つの空所を埋める形式です。

パートⅣは整序英作文の問題で、与えられた日本語の意味のように、8つの選択肢を並べかえて英語を完成させます。5問出題されています。

2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	項目(配点率)	内容
11月23日実施分 公募推薦入試 〔総合評価型〕	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解。 スウェーデンの教育政策の転換を扱った英文記事。これまで教育現場のオンライン化を推し進めてきたスウェーデン政府は、子供たちの学力低下に関する報告などを受け、オンライン一辺倒の教育政策をあらため、紙媒体による教科書を再導入することを決定。記事はこの決定に至るまでの背景と、この決定に対する慎重な意見も紹介している。
	II	読解(20%)	段落の内容理解。 太古の虫の中に現れた最初の脳のメカニズムと、そこから脳がどのように発展したかを読み解くことができれば、人間の脳の秘密を解く鍵となると本文は主張する。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充。
	IV	整序英作文(15%)	与えられた単語を並べかえることによる英文完成。
11月29日実施分 公募推薦入試 〔総合評価型〕	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解。 さまざまな言語を英語で説明する辞書をデータベース化することによって、言語と概念の関係を解明しようとする研究について紹介する文章。この研究は、イヌイットの言語には「雪」に関する言葉が多い、ヒンズー語には「愛」に関する言葉が多いなど、これまで主張されてきたことを数値として確認することができる。
	II	読解(20%)	段落の内容理解。 東京大学の研究室で開発された「食べられる」コンクリートに関する英文記事。開発までの苦労と、この素材の今後の応用可能性について紹介している。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充。
	IV	整序英作文(15%)	与えられた単語を並べかえることによる英文完成。
11月30日実施分 公募推薦入試 〔総合評価型〕	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解。 いわゆるZ世代に対する再教育の取り組みを紹介した英文。生まれた時から常にデジタル機器と接していたために、彼らには電話で直に人と話したり、実際に顔と顔を突き合わせて会話することが苦手という特徴が見られる。この取り組みは、若者たちの精神面での健康にも不可欠なものと謳われている。
	II	読解(20%)	段落の内容理解。 月探索を行う宇宙船の歴史を紹介する文章。1966年、ソ連のLuna 9にはじまった宇宙船による月探索の歴史は、米国、中国、ロシア、インド、日本で今なお進行中である。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充。
	IV	整序英作文(15%)	与えられた単語を並べかえることによる英文完成。
1月29日実施分 一般選抜入試 前期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解。 10代のアメリカ人がAIに対してどのような懸念を抱いているかについて調査した記事。80%がAIによってもたらされるリスクに政府が取り組むことが重要と答えた。しかし、一般市民の懸念が政府に見過ごされている点も指摘している。
	II	読解(20%)	段落の内容理解。 「～やすい」、「～にくい」、「～づらい」、「～がたい」といった表現の違いを筆者の視点から分析し、社会的背景と共にその使用の推移を論じた。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充。
	IV	整序英作文(15%)	与えられた単語を並べかえることによる英文完成。

試験日・日程	問題番号	項目(配点率)	内容
1月30日実施分 一般選抜入試 前期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解。 「私には訛りはありません！」と思っている人が多いが、実は誰の発話にも訛りはある。それなのに多くの人が自分の訛りに無自覚であるのは、訛りが相対的なものであるからだ。訛りとはあなたがどこに所属しているのかという問題で、少し話せば、あなたの生まれ育ち、ジェンダーや年齢、さらには職業までもがあらわになってしまう。
	II	読解(20%)	段落の内容理解。 シャワーを浴びているとき、ふいに良いアイデアを思いつくのはなぜか？ それは、人間の神経ネットワークのひとつである DMN が活性化したからだ。DMN の役割について紹介する。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充。
	IV	整序英作文(15%)	与えられた単語を並べかえることによる英文完成。
1月31日実施分 一般選抜入試 前期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解。 真に親切であるとはどういうことかについての文章。前半では、niceness(親切)との比較を通して kindness(真の親切)を考察し、後半では、真に親切にふるまうことで得られる生理学的な効果が紹介されている。
	II	読解(20%)	段落の内容理解。 主題は人工言語。作家は、既存の自然言語では十全に表現できないことを表現する手段として人工言語を創作することがあるということが、J.R.R. Tolkien や Barbara Newhall Follett、Beatrix Potter の例とともに紹介されている。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充。
	IV	整序英作文(15%)	与えられた単語を並べかえることによる英文完成。
2月14日実施分 一般選抜入試 中期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解。 新井薬師の点字おみくじを紹介する英文記事。日本のおみくじ文化に興味を持つ留学生が点字おみくじの制作を思いつき、福祉協会に相談した。眼病治癒の祈願で有名な新井薬師は、福祉協会から伝えられた留学生の提案を受け入れ、点字おみくじの制作は点訳ボランティア団体の協力によって実現した。
	II	読解(20%)	段落の内容理解。 自動車の発明が人間に与えた影響について紹介する英文。自動車は長距離を短時間で移動することを可能にしたが、事故や大気汚染など、様々な問題の原因になっている。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充。
	IV	整序英作文(15%)	与えられた単語を並べかえることによる英文完成。
2月15日実施分 一般選抜入試 中期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解。 高齢者のデジタル機器利用についての記事。とある研究結果によれば、デジタル機器を日常的に利用している高齢者のほうが脳の認知機能の低下の割合が低い。この研究結果は「デジタル機器を長時間使用することで脳の認知機能に悪影響がある」という一般的に受け入れられている認識を覆す発見である。高齢者のデジタル機器利用が認知機能の維持とどのような関係があるのか、その科学的な解明が今後の課題である。
	II	読解(20%)	段落の内容理解。 アメリカ音楽というジャンルは1920年代に活躍した作曲家(Duke Ellington、George Gershwin、Aaron Copland)らによって模索されつつ確立された。彼らの打ち立てたアメリカ音楽は、さまざまな地域から渡米した移民らの音楽文化が融合しているという点に特徴づけられている。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充。
	IV	整序英作文(15%)	与えられた単語を並べかえることによる英文完成。
3月10日実施分 一般選抜入試 後期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解。 長年にわたる熊の研究者からの観察・提言の文章。ぬいぐるみなどから、一見、熊は愛らしく思える動物である。その理由を進化と人間の心理面などから説きつつ、一方では危険な動物であることにも留意して対応する必要がある。
	II	読解(20%)	段落の内容理解。 環境問題の一つである heat island effects がその周辺地域よりも都市部に多くの雨を降らせる原因になっているとする wet island effects を扱った文章。著者は、都市計画の防災対策の一環として、雨水などを資源の一つとみなして貯蔵し、周辺地域の農業用水などに活用する green infrastructure の推進を提唱している。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充。
	IV	整序英作文(15%)	与えられた単語を並べかえることによる英文完成。

3 出題の意図と対策

I と II の長文読解問題では、語彙・文法に関する知識、読解力など総合的な英語力が要求されます。語彙は基本的に高校の学習範囲内のものが使用されていますので、まずは学習範囲の語彙を用例とともに確実に身につけてください。また、学習範囲を超える語彙が出てくる場合も、前後の流れから意味の推測可能となるよう工夫されています。英文を読んでいて知らない語彙が出て来たときは、辞書で調べる前に、その意味を推測するよう習慣づけておきましょう。外国語として英語を読む場合、文法はとても重要です。基本的な文法事項は、具体的な文例を通して正確に理解しておきましょう。出題される英文の内容は言語、環境、心理、教育、歴史、科学技術などさまざまです。普段からインターネットや書籍などを通じ、多様な分野の英語に触れておきましょう。

III の会話空所補充問題では、会話の流れをつかむ能力と口語表

現の知識などが要求されます。使われる英語は平易ですが、会話がどのような場面で、何について、どのような態度でなされているか、すばやく正確に読み取るのは大変です。さまざまなメディアを通じて、たくさんのダイアログに接し、脈絡をたどり、会話の先を予測する能力を身につけておきましょう。口語表現には、文脈によって意外な意味をもつものもありますので、使われ方に注意しながら覚えていきましょう。

IV の整序英作文の問題では、英文を正しく組み立てる力が要求されますので、文法と熟語表現の知識が重要です。基本的文法事項に関連する文例を数多く、音読や書き写しによって習得し、様々なパターンの英語に慣れておきましょう。また熟語表現も用例とともに習得し、しっかりと使えるようにしておきましょう。

龍谷大学の国語

●2025(2026入試)年度は、「公募推薦入試〔総合評価型〕」、「一般選抜入試前期日程・中期日程・後期日程」とも文系型・理系型の受験型に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。ただし、理系型では農学部の出願者のみが選択解答できました。また、経営学部「専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入学試験」は、同一試験日の問題を古文を除いて使用しました。

1 これが傾向

2025(2026入試)年度の国語の問題は、例年と同じく、各試験日とも、
〔一〕〔二〕現代文
〔三〕古文
という構成になっています。設問数は漢字問題 4 問を含め、合計 28 問です。解答方法は全問マーク式で、それぞれ 4 つの選択肢の中から正答を 1 つ選びます。
〔一〕〔二〕の現代文の問題では、日本文化、言語、身体、宗教、科学、教育、文学など、さまざまなテーマにかんする文章を幅広く取り上げています。いずれも、「入試という枠組みを超えて、自分たちをとりまく現代の問題について、深く読み考えるきっかけにしてほしい」という願いを込めて、素材文を選択しています。設問は、語句の意味、指示語の内容、あるいは接続語や語句の

補充といった基本的なものから、筆者の考えや文章全体の趣旨・主題を問うものまであり、多角的に思考力を測れるように工夫しています。
〔三〕の古文の問題も、さまざまなジャンルや時代の作品を取り上げており、読解の助けになるように、必要に応じて注もつけています。設問としては、古語の意味や文の解釈・現代語訳、文法的事項、文学史の知識のほか、作中人物の心情や文章の趣旨などを問うものがあります。いずれもオーソドックスなものですから、基礎的な学力を身につけて、内容を正しく把握できるように練習しておけば、解答可能なレベルだと言えます。
現代文・古文ともに、文章の一字一句を丁寧に読み、文意を正確に捉えることがもっとも大事なポイントです。

2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	配点率	種類	出典	内容
11月23日実施分 公募推薦入試 〔総合評価型〕	〔一〕	(40%)	現代文 評論	隈研吾 『負ける建築』	モダニズム建築は、装飾を廃し機能を重視する。そのルーツであるオフィスビルは、建築を物と分離させることで二〇世紀が求める脱主体性を獲得した。また、二〇世紀には土地のソーニングにより、住宅の資産価値が安定した。 ○漢字の知識、内容理解、空所補充、趣旨把握
	〔二〕	(30%)	現代文 随筆	中野珠実 『顔に取り憑かれた脳』	素顔であれ仮面であれ、外面は常に自己の内面と深い関わりを持っており、そしていずれの外面も自己と他者の関係性からつくられる想像的共有物である。それがないと、私たちの自己は不安定になり、他者との関係もうまく機能しなくなる。 ○内容理解、空所補充、箇所説明、趣旨理解
	〔三〕	(30%)	古文	『夜の寝覚』	寝覚の上は病のため、父である入道殿のもとに身を寄せており、入道殿に出家したいという気持ちを抱えた。入道殿は娘の出家を認めたくなかったが、寝覚の上の境遇や過去のことを考えるうちに、出家はやむを得ないと思うようになった。 ○主語の判定、内容理解、指示部解釈、文学史
11月29日実施分 公募推薦入試 〔総合評価型〕	〔一〕	(40%)	現代文 評論	町田樹 『スポーツをめぐる技術的進歩史観の転回』	近年、アスリートが得られるデータの質量は飛躍的に向上し、そこで得られた客観的知識は様々な場面で役立てられている。ミシェル・フーコーの「権力」概念を利用することで、その主客が相互に浸透していることが明確になる。 ○漢字の知識、内容理解、語句解釈、空所補充、趣旨把握
	〔二〕	(30%)	現代文 随筆	郡司ベギオ幸夫 『いきものとなまもの の哲学』	例えば、練り芥子という「部分」が焼きソバという「全体」と混ざり合うことで既存の調和を揺るがし、新たな味を生じさせるように、部分と全体といった相異なる装置が互いに一致することなく相互作用するシステムを、生命は有している。 ○内容理解、空所補充、箇所説明、趣旨理解
	〔三〕	(30%)	古文	『無名草子』	『無名草子』全体は、平安時代の物語・和歌・女性の批評を行った作品である。出題箇所は「涙」「念仏の効用」「法華経」を「源氏物語」の作者紫式部は読んでいたかどうか」などについて、何人かの女たちが所感を述べあう態度で論じている。 ○内容理解、文法、空所補充、指示部解釈、文学史
11月30日実施分 公募推薦入試 〔総合評価型〕	〔一〕	(40%)	現代文 評論	太田充胤 『踊るのは新しい体』	私たちは生命体をモノのように対象化して眼差しうる。その認識論的なスイッチについて、筆者は金森修の遺作「人形論」をひもときながら解明を試みる。そして、金森が遺した「人形の靈魂」という語義矛盾を孕む概念に迫る。 ○漢字の知識、内容理解、箇所把握、空所補充、趣旨把握
	〔二〕	(30%)	現代文 随筆	矢野利裕 『「国語」と出会いなおす』	人々は物語を構造として一般化し、登場人物等の諸要素を、読者自身の身近な現実と置き換えることで物語に共感を抱く。こうした共感をベースにした物語の受容を学校の教室で行うことで、生徒たちの間に一種の共通体験が生まれる。 ○内容理解、空所補充、趣旨把握
	〔三〕	(30%)	古文	『住吉物語』	姫君は、継母にひどい扱いをされ、侍従とともに住吉の尼君を頼り身を隠すことにした。姫君に心を寄せている少将は思い乱れる。住吉に着いた姫君は経を読み極楽往生を祈って過ごす。少将は姫君を探し続けるが見つめることができない。 ○主語の判定、文法、指示部解釈、内容理解、文学史
1月29日実施分 一般選抜入試 前期日程	〔一〕	(40%)	現代文 評論	西澤晃彦 『貧者の領域誰が排除されているのか』	野宿者は「檻のない牢獄」という固有の空間を生きている。筆者は、排除、自己否定、死を待つあきらめ、などの観点から、野宿者たちが生きる過酷な世界を描く。そのうえで、野宿者を無力化する力に対する抵抗の所在を探っていく。 ○漢字の知識、箇所説明、空所補充、内容理解、趣旨把握
	〔二〕	(30%)	現代文 随筆	荒俣宏 『理科系の文学誌』	分子が幾何学的に整然と並び結晶に対し、急冷されたガラスは秩序を欠く「液状の個体」である。カルヴィーノは、その結晶とガラスとの構造の違いを下敷きとして、ガラスの地球が「水晶の春」へと向かう葛藤の様相を描いている。 ○内容理解、箇所説明、空所補充、趣旨把握
	〔三〕	(30%)	古文	日野名子 『竹むきが記』	後醍醐天皇の軍勢が都に迫る中、名子は公宗との逢瀬に不安を抱く。六波羅探題が攻められると、名子は安居院の寺に身を隠す。その後公宗の邸に迎えられるも、実家と連絡を取ることは許されなかった。公宗は出家を考えるも説得される。 ○文法、空所補充、指示部解釈、内容理解、文学史

試験日・日程	問題番号	配点率	種類	出典	内容
1月30日実施分 一般選抜入試 前期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	渡邊雅子 『論理的思考とは何か』	アリストテレスは自ら作り上げた論理学の体系が、日常の思考や議論ではほとんど役に立たないことを認識し、「蓋然的推論」と「例証」による日常で使える論理の体系を作り上げた。それがレトリックであり、他人を説得するための技術だと言える。 ○漢字の知識、内容理解、空所補充、主旨把握
	(二)	(30%)	現代文 随筆	金ヨシロ 『文学が裁く戦争』	1980年代の文学者たちは、幾つかの方向で戦争裁判を再現していた。その中で既存の文学と異なり、戦争裁判を描いた文学として位置付けてよいと判断が難しい代表的作品として村上春樹『羊をめぐる冒険』が紹介されている。 ○箇所説明、空所補充、語句説明、趣旨把握、内容理解
	(三)	(30%)	古文	『伊勢集』	大和守の娘・伊勢は、仕えている御息所の弟・仲平と恋に落ちる。親は将来を危惧しつつも宿命と諦めたが、果たして二人の関係は仲平の結婚により破綻する。『伊勢集』巻頭はここから始まる伊勢の半生を歌物語的に記述している。 ○文法、指示部解釈、空所補充、和歌解釈、文学史
1月31日実施分 一般選抜入試 前期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	青木淳 『くうきをつくる』	今和次郎の考現学は、建築をヒトとモノの「諸関係」と捉えた。筆者はこれを「くうき」と呼び、表現や意味を消し続けながらそれを築こうとする。距離感を制御して心理的な切断を生み出すことは、個人の領域を守ることに繋がる。 ○漢字の知識、内容理解、箇所説明、空所補充、趣旨把握
	(二)	(30%)	現代文 随筆	上林暁 『四国路』	上林暁の私小説。昭和十九年、小説家の「私」は子供を疎開させるために、九年ぶりの帰郷を決意する。都会で人生の苦味を嘗めた「私」は、旅の途上で子供を見失う不安なども経験し、母や家族、故郷への思いを切実に深めてゆく。 ○比喩の種類、空所補充、箇所説明、内容理解
	(三)	(30%)	古文	日記 『和泉式部日記』	女は、恋人(為尊親王)を亡くして悲しみにうち沈んでいたが、恋人の弟宮(敦道親王)の求愛を受け入れ、ついに一夜を共にしてしまった。そして、女は自らの心の変化に驚くのであった。 ○指示部解釈、文法、和歌の修辞法、内容理解、文学史
2月14日実施分 一般選抜入試 中期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	志賀信夫 『貧困とは何か——「健康で文化的な最低限度の生活」という難問』	「貧困とは何か」という問いへの答えは、時代、国、社会の違いによって異なる。同じ時代、社会の中でも人々の間で考え方が異なっている。しかし現代では、世界人権宣言などの広く認められた社会正義に反するような貧困理解は承認されがたい。 ○漢字の知識、内容理解、空所補充、指示部解釈
	(二)	(30%)	現代文 随筆	青山拓央 『コロナの時代の恋』	コロナ禍によるマスク着用の標準化が、公私の領域を分断したために、私的な自由としてあった容姿へのこだわりがルッキズムの意味を帯びるようになった。マスクは恋愛の野蠻さを顕在化させず、恋愛のあり方を変える可能性がある。 ○内容理解、空所補充、箇所説明、趣旨把握
	(三)	(30%)	古文	建礼門院右京大夫 『建礼門院右京大夫集』	㊦宮中に再出仕した作者は、昔のことを忘れられず、悲しみを深めていく。㊧作者は、まだら模様の犬の姿を見るにつけ、宮中の人々の変化を痛感させられる。㊨作者は、宮中で訴訟の審理を聞き、今は亡き恋人のことを思い出す。 ○指示部解釈、文法、内容読解、文学史
2月15日実施分 一般選抜入試 中期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	飯田祐子 『家族ゲームの世紀』	夏目漱石の『明暗』は、近代になって導入された恋愛結婚によって結ばれた夫婦の葛藤と妥協を描きつつ、さらに夫婦の不安定な二者関係を脅かす他者の介入を通して、終わりのない複雑な家族ゲームを描いた作品である。 ○漢字の知識、空所補充、箇所説明、内容理解
	(二)	(30%)	現代文 随筆	竹内敏晴 『時満ちくれば——「愛」へ至らんとする15の歩み』	援助とは本来、生きものであれば手をさしのべるということであり、「人格」とは仮面を付けていない、すべて見通しの孤独な状態である。そして、他人を援助することは、自分の「人格」をさらけ出すこと、即ち「愛」と呼ばれる行為である。 ○箇所説明、空欄補充、内容理解
	(三)	(30%)	古文	『大鏡』	特異な個性を持つ平安時代の花山院(花山天皇)のエピソードを列記する。内容は比叡山の法師との術比べ、父冷泉院への火事見舞の様子、荀を父に送った折の贈答歌、道長の催した競馬の際の服装、絵画に優れたこと。 ○文法、指示部解釈、内容理解、文学史
3月10日実施分 一般選抜入試 後期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	高橋恵子・柴田玲子・山川賀世子 『育つ幼児たち——子と親の関係を見直す』	人類は生き延びるために、「人とつながるための生物学的な性質」と「ヒトとつながりやすくする知恵」を進化させてきた。ヒトは自分が満足できるような他人との関係をつくることで安定するが、関係性のありようは個人個人で異なる。 ○漢字の知識、空所補充、箇所説明、内容理解、趣旨把握
	(二)	(30%)	現代文 随筆	阿辻哲次 『部首のはなし』	漢和辞典には複数の索引が用意されているのが通例である。探す漢字の読み方がわかっていれば音訓索引が最も便利であるが、読み方が解らない場合は総画索引や部首索引を使わざるを得ない。しかし、両者はなかなか厄介な存在である。 ○箇所説明、内容理解、文脈把握、趣旨把握
	(三)	(30%)	古文	『海道記』	京・白川の辺りに隠棲する作者は、若い頃から運に恵まれず、不遇を嘆きつつ老年に至り、仏道の修行に励んでいた。そんな折、良い機縁があり、これまで話にのみ聞いていた東国・鎌倉への旅を思い立つ。作者の人生や旅に至る思いが、漢文訓読調の文章で綴られる。 ○空所補充、文法、内容理解、指示部解釈、文学史

3 出題の意図と対策

現代文、古文ともに標準的なレベルの問題ですから、まずはふだんの授業を大切に、反復練習によって国語の“力”を確実に身につけておくことが大切です。

そもそも、国語の“力”には、①基本的な読み書き能力(リテラシー)、②論理的な思考力と表現力、という2つの側面があるのではないのでしょうか。①は、たとえば漢字の知識や言葉の意味を把握した上で、文章を正確に読み取ったり適切に書いたりできる力のことです。文法や修辞技法、文の組み立て方なども含めて、日本語表現を構成する基本的な事項をどれほど知っており理解しているか、そしてどれくらい正しく使えるか、ということです。一方②は、ある文章について、それが表現しようとしている感情なり思想・主張などを成り立たせている枠組みや文脈を理解する力であり、それらをふまえて論理的に文章を書く力だと言えるでしょう。入試問題では、こうした“力”が問われるのです。

〔一〕〔二〕の現代文は、かなりの分量の文章をかざられた時間で読み解かねばなりませんから、構成や趣旨・主題をすばやく的確に把握する訓練が欠かせません。そのためにも、日頃からさまざまな文章に触れ、読解することが必要です。多読と速読を繰り返しながら、文章全体の大まかな流れやテーマを上手につかめるようにしておけば、内容理解や文の挿入位置など多くの設問に対応できるはずです。

空所補充や語句解釈などの問題も例年出されていますが、文脈のなかに適切な語句を埋めたり、文脈におけるある語句の意味するところを確定したりするためには、さらに一つひとつの言葉が持つ微妙なニュアンスの違いに注意しなければなりません。ここ

でもやはり、ふだんからいろいろな文章を読んでおくことが大きな支えとなるはずです。ただし、これらの問題で求められているのは精読です。個々の表現に立ち止まり、一つひとつの言葉の意味を吟味し、まめに辞書を引いて確認しながらゆっくりと読み込むことです。そのようにして、語彙や慣用句、漢字の知識をひろげ、深めていくよう心がけてください。なお、〔一〕の問一は漢字の知識を問う問題ですが、原則として常用漢字の枠をはずれることなく、文脈のなかで漢字の意味が正確に把握できているかどうか重点をおいた設問になっています。問われているのは、あくまでも国語の基本的な“力”なのです。

〔三〕の古文も同様です。基本語彙(重要古語)と古典文法の基礎を正確に理解し、敬語などを手がかりに文の主語・述語関係を見誤らずに読むことができれば、難解な問題文でも設問でもありません。とはいえ、古語や文法を丸暗記することが有効な対策とは言えません。むしろ、具体的に古文を読むなかで、辞書で調べ確認しながらそうした知識・学力を修得するほうが、結果的に応用力もつき、入試問題にも対応できるのではないのでしょうか。その意味で、要点は現代文と変わらないはずです。ちなみに、古典文法と古典文学史について必ず最低1問ずつ出されていますが、現代文でも文法や文学史を問うことがあります。国語便覧などを参考に、基本事項を復習しておきましょう。

入試対策に王道なし。急がば回れ。成功への近道があるとすれば、それは何よりも地道に基礎学力を積み上げることと、言葉への自覚的態度と知的好奇心とを養うことにちがいません。

龍谷大学の日本史

●2025(2026入試)年度の文系型では「一般選抜入試前期日程・中期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

1 これが傾向

2026年度入試(2025年度実施)の日本史の出題傾向、方式は従来と大きく変わったところはありません。問題の構成は大問が3つで、おおそ、Ⅰは原始・古代・中世、Ⅱは近世、Ⅲは近代・現代でした。また、数は少ないですが、大問の境界にとらわれることなく、関連事項が問われることもあります。

歴史学においては、開国から廃藩置県までを近世・近代の移行期と位置づけることが多く、このため、本学入試問題の日本史においては、開国から廃藩置県までの歴史過程に関しては、Ⅱ・Ⅲのどちらからも出題される可能性があります。

大問は、2つ、ないし3つにリード文が分かれることがあります。設問は全部で40問で、ⅠとⅡが各12問、Ⅲが16問です。配点はⅠとⅡが各30点、Ⅲが40点となっています。

設問は、政治・経済・外交・文化などあらゆる分野にわたり、語句選択、正誤問題、年代配列問題、語句の組み合わせ問題、リード文中の空欄補充問題などから成っています。正誤問題はほとんどが短い文章の選択肢です。

いずれの受験日とも、各時代から、おおむね分野ごとに、大問3つを組み合わせで構成されています。また、史料問題も毎年必ず何問か出題されていますし、写真や地図を用いたものも例年多く出題されています。教科書の記述の根拠となった史料をしっかりと読むことや、歴史認識の手助けとなる地図や図表・写真、その説明文などを注意して見ておくことが必要です。

問題は、基本的に複数の出版社の日本史探究の教科書に準拠して作成されています。日頃から高等学校での学習を大切に、個別の事項を関連づけながら日本史の流れを総合的に理解しているかどうか問われますので、理解を深めるための教科書の図・表・地図・写真、それらに付された説明文や欄外の注なども見落とせません。各社の教科書記述の違いを補うために、日本史用語集などの補助教材を利用し学習することも有効でしょう。日本史の事項を暗記するだけでなく、内容について理解し、歴史の展開を把握できているかどうかを、複合的に問う傾向にあります。

2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	配点	内容
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	30点	白鳳文化と天平文化(含図版)
	Ⅱ	30点	江戸時代の儒学
	Ⅲ	40点	明治期の東アジア外交(含地図)
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	30点	律令政府の再建策と平安時代初期の文化(含地図)
	Ⅱ	30点	18世紀の幕藩体制の動揺と思想・学問の展開
	Ⅲ	40点	明治政府の成立と諸制度の整備(含史料)
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	30点	清和源氏の盛衰(含図版)
	Ⅱ	30点	江戸時代初期の朝廷・宗教統制と寛永文化
	Ⅲ	40点	第二次世界大戦後の政治と社会
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	Ⅰ	30点	戦国大名の登場と都市の発展
	Ⅱ	30点	江戸時代後期の政治と文化(含史料)
	Ⅲ	40点	明治時代の諸制度の整備と産業
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	Ⅰ	30点	鎌倉幕府の成立と北条氏による執権政治
	Ⅱ	30点	近世初期の外交と宗教政策(含む史料)
	Ⅲ	40点	大正・昭和戦前期における日本の経済政策

3 出題の意図と対策

歴史は、政治・経済・文化などが個別に存在するのではなく、いろいろな事柄が互いに作用し合っており、展開しています。この点に注意して教科書を繰り返し読むと、歴史における部分と全体とが緊密な関係をもっており、時間的、空間的に連続していることが見えてきます。単純に年代やできごと、人物名を記憶するばかりでなく、それぞれのつながりや意味を考えながら理解を深めるようにしてください。

例えば、昨年度の問題では、関連するできごとを古い順に並べる問題は4問あり、毎年出題される傾向から年代を確認しておく必要がありますが、年代のみを問う問題は少なくなりました。むしろ、それぞれの時代を特徴づけ、画期となる事柄を確認して、その流れや背景を理解しておくことが大切です。そのほか、ある出来事の前年に起きたことや、それと同年の出来事を問うものも毎年のように出されています。2026年度入試では、日清戦争後の東アジアの外交に関連した主要な港湾を地図上で問う問題が出されました。2025年度入試では、近世の織家を描いた絵図に関する説明文を完成させる問題が出題されました。2024年度入試では、幕末、アメリカのビッドルが来航した場所について、地図上で問

う問題が出題されました。これらは、文字情報だけではなく、もののかたちや位置といった、文字以外の視覚的な情報も知っていなければ正解を導くことができない応用問題です。これらの問題に対応するには、用語を単に丸暗記するのではなく、それ自体に込められた意味について深く考えることが必要となります。

このように、単なる丸暗記では対応できない問題が多く出されてきたことからすれば、まずはそれぞれの時代を大づかみすることからはじめて、歴史的な因果関係に留意して、より深く個別の事象を見るようにすることが大切です。また、史料は歴史叙述の証拠として重要ですから、特に教科書に収載されているものは必ず目を通して、そこから何がわかるのか、よく考えておいて下さい。

くどくなりますが、自分なりの問題意識をもって教科書を読むと歴史への関心は高まり、繰り返し読めば用語も次第に覚えることになるでしょう。そして、頻度の高い事柄は必ずと記憶することになりますから、できるだけたくさん問題を解いてみることで、本学の過去問題に慣れておくことは言うまでもありません。

龍谷大学の世界史

●2025(2026入試)年度の文系型では、「一般選抜入試前期日程・中期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

1 これが傾向

龍谷大学の世界史の入試問題は、受験生の皆さんの基礎学力を知るために作られています。マークセンス方式で、それぞれの事項の教科書における頻度数を踏まえて出題していますので、難問はほとんどありません。

設問は三つの大問によって構成されており、それぞれの大問は、特定の地域や時代からの出題もありますが、一定のテーマに沿って、あるいはある国や地域を、通史的に出題する設問も多く見られます。前者の場合でも、その中で、他の地域や時代の基本的な知識を問うこともあります。

大きな傾向としては、本学の建学の精神との関係もありますので、仏教に関する設問が比較的多いのは特徴の一つでしょう。ただし、一般入試は五日間ありますので、すべての日に仏教に関する設問があるわけではありません。しかし、仏教の歴史がよく出てくるということで、受験生の皆さんが、特に熱心に勉強してくれば龍谷大学としても幸いです。また、仏教に限らず、その

他の宗教や思想・文化などの出題もありますので、それらの知識が入学後も役に立つことは言うまでもありません。

ここ数年の過去問を見ても、きわめて幅広い地域からの出題となっており、現在、世界の人々にとっても関心の高いイスラム世界からの出題も頻度が高いと言えます。全体から見れば、中東・東南アジアなどが、かつて世界史では、最も出題の多かった中国や西欧の二地域とほぼ拮抗して出題されているのも最近の傾向です。

龍谷大学の世界史は、教科書を片寄ることなく読み、歴史の流れを総合的に理解していれば、比較的容易に正答にたどりつくことができるような設問になっています。また、歴史は、重要な出来事を立体的・視覚的に捉えることも重要であり、そうすることによって理解も深まると言えます。そのような考えから、地図や写真、図版なども毎年出題されるので、注意しておく必要があります。

2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	配点	内容
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	I	33点	中国古代史(漢代まで)
	II	33点	ヨーロッパ近世・近代史(ドイツを中心とする)
	III	34点	インド史(ムガル帝国期以降)
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	I	33点	ヨーロッパ中世史(キリスト教を中心とする)
	II	33点	中国中・近世史(隋～五代十国)
	III	34点	ヨーロッパ近世・近代史(スペインを中心とする)
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	I	33点	中国中世史(三国～南北朝)
	II	33点	イスラム史(11～16世紀を中心とする)
	III	34点	ヨーロッパ近代史(第一次大戦以前)
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	I	33点	インド史(古代を中心とする)
	II	33点	ヨーロッパ近代史(ナポレオンを中心とする)
	III	34点	中国近世・近代史(明～清)
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	I	33点	古代ギリシャ・ローマ史
	II	33点	中央ユーラシア史(モンゴル帝国を中心とする)
	III	34点	ヨーロッパ近・現代史(第一次大戦以降)

3 出題の意図と対策

教科書をよく読むことはもちろんですが、歴史年表や歴史地図も活用して、総合的に理解することが龍谷大学の世界史入試の対策には大事です。教科書に載っているような歴史的な出来事は、どれも、事件が生じた地域だけでなく、その周辺の地域や、場合によっては、はるか遠い地域にまで波及し、時期的にも数十年、さらには何世紀も後の人々の政治や生活に影響を与えることがあります。こうした関連性や影響を理解するためには、歴史年表と歴史地図の活用は欠かせません。一番の対策は、歴史に関心を持つこと、歴史のおもしろさを知ることです。そのために、年表や地図・写真・図版などを見て、あれこれ想像力をふくらませてみましょう。

傾向の所でも述べましたが、龍谷大学の世界史には地図がよく使われます。これは、受験生の皆さんに歴史の流れや地域相互の横の関係を考えてもらいたいからです。現代は、情報化社会、グローバル化の時代などとよく言われますが、人・モノ・情報の移動・交流・流通は、歴史的に見れば特に新しいことではなく、はるか古代から、それぞれの時代や地域に応じて行なわれていたことなのです。写真や図版が多く出るのも、そのようなことを踏まえて設問を作成しているからです。ぜひ、教科書に載っている写

真・図版・地図には、目を配っておいてください。

龍谷大学の世界史では、事件の起こった細かな年代を問う設問はほとんどありません。王朝が交代した年や革命が起こった年など、大きな歴史的イベントの年代を覚えておくことは、世界史の学習には有益なことです。年代の暗記にこだわるのはあまりよくありません。それよりも、大きな歴史の流れの理解に時間を割くよう心がけるべきでしょう。事件の起こった順番を問う問題も時々ありますが、すべての出来事の順番を正確に覚えていなくても、重要な事件の前後関係とその流れを理解していれば、正解にたどりつくように出題されています。大きな歴史的イベントの前後の流れや各地域の関連をつかむ努力をしておけば、高得点が期待できます。現代史に関して言えば、新聞やテレビで、海外のニュースに日ごろから関心を持っておくことも大切です。

問題文はかなり長いものもありますが、文章を読み解く能力は国語に限らず、すべての教科に必要な基礎学力です。過去問を解いてみる際に、あるいは受験当日でも、ただ単に設問に答えるだけでなく、問題文をよく読み、出題者がどのようなことを意図し、何を問うているのかを理解するように心がけてみてください。それが勘違いやケアレスミスを防ぐ一番の対策にもなります。

龍谷大学の政治・経済

●2025(2026入試)年度の文系型では、「一般選抜入試前期日程」において学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

1 これが傾向

出題方式は、各問ともいくつかの選択肢の中から、適当なものまたは不適当なものを1つ(場合によっては複数)選択するマークシート方式です。大きな問題は3つあり(下の出題内容の概要におけるⅠ、Ⅱ、Ⅲがそれに当たる)、さらにそれぞれの中に原則2つの問題があります。これらの問題に対し、リード(導入)文が示され、各問はこのリード文に関連して出題されます。問の数は40です。

出題は、法律・政治分野、経済分野、現代社会の諸課題から出されます。これら3つの分野に対しそれぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲが配されるのが、これまでの出題です。出題内容は、主に現代におけることからですが、現在に至る経緯として歴史的知見を問うものもあります。

事実、理念(たとえば民主主義)、その理念を実現するための仕組みを問う問題など、問題の性格は様々ではありません。いずれにしても、教科書や高校の先生の講義から上記3分野における重要な事実、それを理解する基本的な考え方を正しく理解することが大切です。教科書によっては触れていないことがら、また触れていることがらでも教科書により濃淡の差があることは事実ですが、あなたがどの教科書で学んでも特に不利にならないように出題者は極力配慮しています。

基本的には、教科書の記述範囲、記述事項に基づいて出題をしていますが、現代への関心と理解の度を調べるためなど、教科書を越えた最新の時事的な問題が過去には出題されたこともあります。

2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	配点	内容
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	36点	(1) 日本における議院内閣制と行政 (2) 憲法9条と平和主義
	Ⅱ	36点	(1) 市場経済と政府の役割 (2) 財政のしくみと機能
	Ⅲ	28点	(1) 農業と食料問題 (2) 社会保障制度
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	36点	(1) 日本国憲法と基本的人権 (2) 地方自治
	Ⅱ	36点	(1) 国民所得と経済成長 (2) エネルギーと地球環境問題
	Ⅲ	28点	(1) ジェンダー平等と多様な働き方 (2) 持続可能な社会の実現
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	36点	(1) 民主政治と法 (2) 裁判と司法権
	Ⅱ	36点	(1) 外部性と公害 (2) 自由貿易体制の変遷
	Ⅲ	28点	(1) 人口減少と少子高齢化 (2) グローバル化にともなう社会変容と社会的包摂

3 出題の意図と対策

教科書や授業などによって政治・経済に関する基本を理解することがまず大切です。この科目に限らず、学習において正しい知識を習得することは大切ですが、「なぜそうなのか」や、その問題の背景を考え、知識をテーマごとに体系化してください。本学や大学入試センターの過去の入試問題を解いた後も丁寧に考察することが必要です。とりわけあなたが解答を誤った問、解答があやふやであった問に対しては、きちんと理解しておくことが大切です。

2027年度入試の問題も「これが傾向」で述べた3つのすべての分野から出題されると思われるので、教科書全体を丁寧に学習してください。教科書の総ページ数は、日本史や世界史と比べて少ないですが、図表や脚注の重要性は高くなります。先生が授業で話

される周辺的なこと(必ずしも教科書には触れられていないこと)も教科書の内容の理解を深める意味でも意義があるので、注意して聞くようにしてください。

さらに、現代の政治・経済の理解に資するための歴史感覚を養い、この科目に関連する新聞などの報道にも関心を持ってください。

この「政治・経済」については、2027年度入試の出題方式も、2026年度のそれと同じくマークシート方式となります。3つの大きな問題から成り立つといったような出題の様式も2026年度のそれが引き継がれるものと思われます。

また、授業で教科書とともに配付される資料集もよく見ておいてください。

龍谷大学の数学(文系型)

●2025(2026入試)年度の文系型では、「一般選抜入試前期日程・中期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

1 これが傾向

どの日も3問出題され、全問が記述式です。あたえられた問題を読みとって理解する力、論理的に考える力、さらにていねいな計算、ていねいな作図など問題を正確に処理する力、また正しい答えを人がわかるように説明する表現力を、総合的に発揮してもらうためです。

数学的知識としては、したがって、教科書を理解する程度で十

分です。満点をとることも不可能ではありません。出題される問題も、教科書の基本的問題、標準的問題が中心です。

なお、以上のような趣旨から、正しい結論が書かれていたからといって満点とは限りません。逆に、正しいすじ道で解答しながら、何らかのミスのため正しい結論に到達しなくても、必ずしも零点とは限りません。

2 出題の意図と対策・解答内容の講評 一答案を通して一

この試験を通して何を問おうとしているか、それを知ってもらうことが、勉強の役に立つと思います。典型的な問題を選んで、気をつけてほしい点を述べます。一般的な傾向として、小問(1)、(2)、(3)を別々に解こうとする答案が目立ちます。小問は関連して解くとうまく正解にたどりつくことを忘れないでください。

III a は正の定数とし、関数 $f(x)$ を

$$f(x) = 2x^3 - 9(a+1)x^2 + 54ax + 108a \quad (x \geq 0)$$

と定義する。

- (1) $f'(x) = 0$ を解きなさい。
- (2) 常に $f(x) > 0$ であるように、定数 a の値の範囲を求めなさい。
- (3) $a = \frac{1}{9}$ のとき、 $f(x) = 0$ となる x の値を全て求めなさい。

講評

(1) $f'(x)$ を求めると、

$$\begin{aligned} f'(x) &= 6x^2 - 18(a+1)x + 54a \\ &= 6(x-3)(x-3a) \end{aligned}$$

よって、求める答えは、

$$x = 3, 3a$$

(2) 問 (1) の結果より、関数 $f(x)$ の極小値は下記の通りである。

- $0 < a \leq 1$ のとき: $f(3)$
- $1 < a$ のとき: $f(3a)$

$f(0) = 108a > 0$ より、関数 $f(x)$ が常に $f(x) > 0$ となるには、

$$f(3) > 0 \quad \text{かつ} \quad f(3a) > 0$$

であるように、定数 a の値の範囲を定めれば良い。

- $0 < a \leq 1$ の場合: $f(3)$ を計算すると、

$$f(3) = 189a - 27$$

したがって、

$$f(3) > 0 \iff a > \frac{1}{7}$$

- $1 < a$ の場合: $f(3a)$ を計算すると、

$$\begin{aligned} f(3a) &= -27a^3 + 81a^2 + 108a \\ &= -27a(a^2 - 3a - 4) \end{aligned}$$

したがって、

$$f(3a) > 0 \iff 1 < a < 4$$

以上のことをまとめると、求める範囲は、

$$\frac{1}{7} < a < 4$$

(3) $f(x) = 2x^3 - 9(a+1)x^2 + 54ax + 108a$ より、 $a = \frac{1}{9}$ のとき、

$$f(x) = 0 \iff x^3 - 5x^2 + 3x + 6 = 0$$

$g(x) = x^3 - 5x^2 + 3x + 6$ とおくと、 $g(2) = 0$ であるので、 $g(x)$ は $x-2$ で割り切れる。割り算を実行して

$$g(x) = (x-2)(x^2 - 3x - 3) = 0$$

であるから、

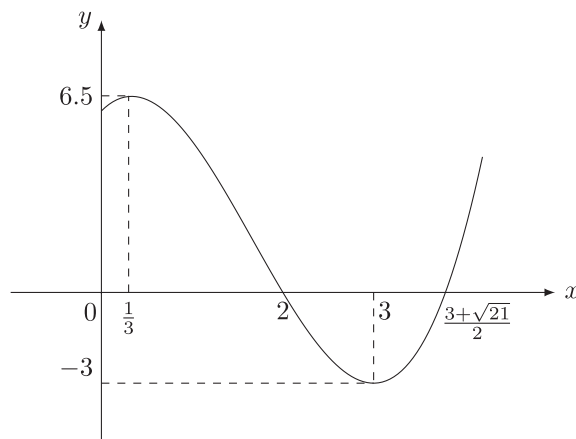
$$x = 2, \frac{3 \pm \sqrt{21}}{2}$$

$x \geq 0$ より、求める答えは、

$$x = 2, \frac{3 + \sqrt{21}}{2}$$

(注意) 問 (2) で a の値について場合分けをする際に、 $a = 1$ を排除しないように気をつけよう。実際、 $a = 1$ の場合は、 $f(x) = 6(x-3)^2$ であるため、 $a = 1$ の時も $f(x) > 0$ を満たすことに注意しよう。

問 (3) で最終的な答えを求める際は、 x の範囲に注意が必要である。以下の図のように $y = x^3 - 5x^2 + 3x + 6$ のグラフを描いて、 x の値が二つしかないことを確認しよう。



Ⅲ 点 $(-2, 24)$ を通り、頂点が $(-1, 27)$ である放物線の方程式を $y = f(x)$ とする。このとき、 $y = |f(x)|$ のグラフ C は、 x 軸上の2点 $(p, 0)$ 、 $(q, 0)$ を通る。ただし、 $p < q$ とする。さらに、 C 上の点 $(-2, 24)$ における接線と平行で、点 $(p, 0)$ を通る直線を l とする。

- (1) p, q の値を求めなさい。
- (2) C と l の共有点の座標を全て求めなさい。
- (3) C と l で囲まれた図形のうち、 $x \geq 0$ の部分の面積を求めなさい。

講評

(1) 頂点が $(-1, 27)$ であるため、放物線の方程式 $y = f(x)$ は

$$y = a(x+1)^2 + 27$$

と表せる。この放物線は点 $(-2, 24)$ を通るため、

$$24 = a(-2+1)^2 + 27 \Rightarrow a = -3$$

したがって、放物線の方程式 $y = f(x)$ は

$$y = -3(x+1)^2 + 27 = -3(x^2 + 2x - 8) = -3(x+4)(x-2)$$

よって、求める p, q の値は、

$$p = -4, \quad q = 2$$

(2) 問 (1) より、 $f(x) = -3(x^2 + 2x - 8)$ である。
 $x = -2$ のとき、 $|f(-2)| = f(-2) = 24$ であるため、
 点 $(-2, 24)$ における接線の傾きは、

$$f'(-2) = -6(-2+1) = 6$$

$p = -4$ であるため、直線 l は傾き 6 で点 $(-4, 0)$ を通る。したがって、直線 l の方程式は、

$$y = 6(x+4)$$

よって、 C と l の共有点の座標を求めるには、

$$|-3(x+4)(x-2)| = 6(x+4)$$

を解けば良い。

- (i) $x \leq -4, 2 \leq x$ のとき：この場合、 $-3(x+4)(x-2) \leq 0$ であるため、

$$3(x+4)(x-2) = 6(x+4)$$

を解くと、

$$x = -4, 4$$

- (ii) $-4 \leq x \leq 2$ のとき：この場合、 $-3(x+4)(x-2) \geq 0$ であるため、

$$-3(x+4)(x-2) = 6(x+4)$$

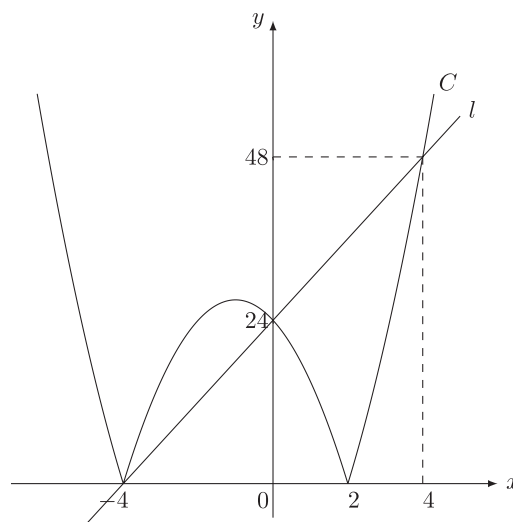
を解くと、

$$x = 0, 4$$

(i), (ii) より、求める共有点の座標は、

$$(-4, 0), \quad (0, 24), \quad (4, 48)$$

(3) 曲線 C と直線 l を図示すると次のようになる。



したがって、以下の定積分の和を求めれば良い。

$$\begin{aligned} & \int_0^2 \{6(x+4) + 3(x^2 + 2x - 8)\} dx \\ & + \int_2^4 \{6(x+4) - 3(x^2 + 2x - 8)\} dx \end{aligned}$$

それぞれの定積分を計算すると、

$$\begin{aligned} \int_0^2 \{6(x+4) + 3(x^2 + 2x - 8)\} dx &= 3 \left[\frac{x^3}{3} + 2x^2 \right]_0^2 = 32 \\ \int_2^4 \{6(x+4) - 3(x^2 + 2x - 8)\} dx &= -3 \left[\frac{x^3}{3} - 16x \right]_2^4 = 40 \end{aligned}$$

よって、求める面積は

$$32 + 40 = 72$$

(注意) グラフを図示する場合は、絶対値記号 $|x|$ をしっかりと外せるかどうかのポイントになる。苦手な人は絶対値記号について復習しておこう。また、問 (3) の答えが負の数になった場合は、どこかで計算間違いをしているので、しっかりと見直そう。

III 次の条件によって定められる数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ がある。

$$\begin{aligned} a_1 &= 1, & b_1 &= 1, \\ a_{n+1} &= \frac{4}{3}a_n - \frac{5}{3}b_n, & b_{n+1} &= -\frac{5}{6}a_n + \frac{13}{6}b_n \end{aligned}$$

- (1) 数列 $\{a_n + b_n\}$ の一般項を求めなさい。
- (2) 数列 $\{a_n - 2b_n\}$ の一般項を求めなさい。
- (3) 数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ の一般項をそれぞれ求めなさい。

講評

(1) $a_{n+1} + b_{n+1}$ を計算すると、

$$\begin{aligned} a_{n+1} + b_{n+1} &= \left(\frac{4}{3}a_n - \frac{5}{3}b_n\right) + \left(-\frac{5}{6}a_n + \frac{13}{6}b_n\right) \\ &= \frac{1}{2}(a_n + b_n) \end{aligned}$$

$a_1 + b_1 = 2$ であるため、数列 $\{a_n + b_n\}$ は初項 2、公比 $\frac{1}{2}$ の等比数列である。したがって、

$$a_n + b_n = 2 \times \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} = \left(\frac{1}{2}\right)^{n-2}$$

(2) $a_n - 2b_n$ を計算すると、

$$\begin{aligned} a_{n+1} - 2b_{n+1} &= \left(\frac{4}{3}a_n - \frac{5}{3}b_n\right) - 2\left(-\frac{5}{6}a_n + \frac{13}{6}b_n\right) \\ &= 3(a_n - 2b_n) \end{aligned}$$

$a_1 - 2b_1 = -1$ であるため、数列 $\{a_n - 2b_n\}$ は初項 -1 、公比 3 の等比数列である。したがって、

$$a_n - 2b_n = (-1) \times 3^{n-1} = -3^{n-1}$$

(3) 問 (1), (2) より

$$a_n + b_n = \left(\frac{1}{2}\right)^{n-2} \quad \dots \textcircled{1}$$

$$a_n - 2b_n = -3^{n-1} \quad \dots \textcircled{2}$$

したがって、

$$a_n = \frac{1}{3} \times (2 \times \textcircled{1} + \textcircled{2}) = \frac{1}{3} \left(\left(\frac{1}{2}\right)^{n-3} - 3^{n-1} \right)$$

$$b_n = \frac{1}{3} \times (\textcircled{1} - \textcircled{2}) = \frac{1}{3} \left(\left(\frac{1}{2}\right)^{n-2} + 3^{n-1} \right)$$

(注意) 問 (1), (2) では、例えば、 $a_1 + b_1$, $a_2 + b_2$, $\dots$ を計算して公比を類推するだけでは不十分である。第 $n+1$ 項と第 n 項の関係を一般的に示すようにしよう。また、問 (3) で得られた解を使って $a_1 + b_1$ や $a_1 - 2b_2$ を計算することで、答えがあっているかどうか検算することができる。検算をすることで計算ミスを少なくしよう。

龍谷大学の数学(理系型)

●2025(2026入試)年度の理系型では、「公募推薦入試〔総合評価型〕」、「一般選抜入試前期日程・中期日程・後期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。ただし、先端理工学部では応用化学課程と環境科学課程の出願者のみが数学(2)を選択解答できました。また、先端理工学部の「専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入学試験」は、同一試験日の数学(2)の問題を使用しました。

1 出題の意図と傾向

数学(1)では、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)が、数学(2)では、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)が出題範囲です。ただし、公募推薦入学試験(11月末実施)では、高等学校における授業の進度を考慮して出題しています。龍谷大学の理系型の入試はすべて「完全な論述式」です。最終的な答えが正しくても、論述が不十分な答案は減点の対象となります

(不正解とされる場合もあります)。逆に、答えを間違えたとしても、それまでの論理展開や途中の計算が正しければ部分点が与えられることがあります。「自分の考えをわかりやすく整理して正しく伝える」ように努めれば、マークシート方式や穴埋め方式の問題よりむしろ取り組みやすいと言えるでしょう。

本誌では、2026年度入試で実際に出題された問題について、解答例を公開します。論述式答案に慣れていない受験生のみなさんは参考にしてみてください。

2 問題と解答例

【一般選抜入試中期日程】〈2月14日実施(数学(1) 問題Ⅰ)〉

I 次の問いに答えなさい。

- (1) 等式 $x^2 + 2x + 2 = a(x-1)^2 + b(x+2)^2$ が、すべての x に対して成立するような定数 a, b は存在しないことを示しなさい。
- (2) 曲線 $y = \tan x \left(0 \leq x \leq \frac{\pi}{4}\right)$ と x 軸および直線 $x = \frac{\pi}{4}$ で囲まれた部分を、 x 軸のまわりに1回転させてできる立体の体積を求めなさい。
- (3) 2個のさいころを同時に投げて出る目の数の和を n とするとき、 $(1 + \sqrt{3}i)^n$ の絶対値が10以上となる確率を求めなさい。

【解答例】

(1) 【解答例1】 右辺を展開すると

$$(a+b)x^2 - 2(a-2b)x + (a+4b)$$

これが左辺と等しくなるためには、係数を比較して

$$\begin{aligned} a+b &= 1 & \dots \textcircled{1} \\ -a+2b &= 1 & \dots \textcircled{2} \\ a+4b &= 2 & \dots \textcircled{3} \end{aligned}$$

①, ②を解くと $a = \frac{1}{3}, b = \frac{2}{3}$ となるが、これを③の左辺に代入すると、

$$\frac{1}{3} + 4\left(\frac{2}{3}\right) = 3 \neq 2$$

となり、③を満たさない。ゆえに a, b は存在しない。

【解答例2】 与式がすべての x について成り立つ(恒等式である)ための必要条件として、特定の x の値を代入する。

- $x = 1$ を代入: $5 = 9b$ より $b = \frac{5}{9}$
- $x = -2$ を代入: $2 = 9a$ より $a = \frac{2}{9}$
- $x = 0$ を代入: $2 = a + 4b$

得られた a, b の値を $a + 4b$ に代入すると、

$$\frac{2}{9} + 4\left(\frac{5}{9}\right) = \frac{22}{9} \neq 2$$

となり矛盾する。ゆえに定数 a, b は存在しない。

(2) 求める体積を V とすると、

$$\begin{aligned} V &= \pi \int_0^{\frac{\pi}{4}} \tan^2 x \, dx \\ &= \pi \int_0^{\frac{\pi}{4}} \left(\frac{1}{\cos^2 x} - 1 \right) dx \\ &= \pi [\tan x - x]_0^{\frac{\pi}{4}} \\ &= \pi \left(1 - \frac{\pi}{4} \right) \end{aligned}$$

(3) $1 + \sqrt{3}i$ の絶対値は

$$\sqrt{1^2 + (\sqrt{3})^2} = 2$$

なので、 $(1 + \sqrt{3}i)^n$ の絶対値は 2^n である。 $2^n \geq 10$ となるのは $n \geq 4$ のときである。2個のさいころの目の和 n が3以下となる組は、出る目が $(1, 1), (1, 2), (2, 1)$ の3通りのみ。よって求める確率は

$$1 - \frac{3}{36} = \frac{33}{36} = \frac{11}{12}$$

【一般選抜入試中期日程】〈2月14日実施(数学(2) 問題I)〉

I 次の問いに答えなさい。

- (1) 等式 $x^2 + 2x + 2 = a(x-1)^2 + b(x+2)^2$ が、すべての x に対して成立するような定数 a, b は存在しないことを示しなさい。
- (2) 関数 $f(x) = (k+1)x^k + ax + 8$ を考える。 a は正の実数、 k は2以上の整数である。 $f(x)$ が次の2式を同時に満たすとき、 k と a を求めなさい。

$$f'(1) = 13, \quad \int_{-1}^1 f(x) dx = 16$$

- (3) R, Y, U, K, O, K, U の文字がそれぞれ書かれた7枚のカードを並べたとき、同じ文字が隣り合わない確率を求めなさい。

【解答例】

(1) 【一般選抜入試中期日程】〈2月14日実施(数学(1) 問題I)〉の(1)の解答例と同様。

(2) $f'(x) = k(k+1)x^{k-1} + a$ より、

$$f'(1) = k(k+1) + a = 13$$

定積分の条件より、

$$\begin{aligned} \int_{-1}^1 f(x) dx &= \left[x^{k+1} + \frac{1}{2}ax^2 + 8x \right]_{-1}^1 \\ &= \{1 - (-1)^{k+1}\} + 16 = 16 \end{aligned}$$

なので、 $1 - (-1)^{k+1} = 0$ 。すなわち $(-1)^{k+1} = 1$ となり、 k は奇数である。 $k \geq 2$ の奇数で $k(k+1) < 13$ を満たすのは $k = 3$ のみ。このとき $3 \times 4 + a = 13$ より $a = 1$ 。よって $k = 3, a = 1$ 。

(3) 7文字の並べ方の総数は

$$\frac{7!}{2!2!} = 1260 \text{ 通り}$$

このうち、Kが隣り合うのは

$$\frac{6!}{2!} = 360 \text{ 通り}$$

Uが隣り合うのも同様に360通り。UもKも隣り合うのは $5! = 120$ 通り。ゆえに求める確率は

$$\begin{aligned} 1 - \frac{360 \times 2 - 120}{1260} &= 1 - \frac{600}{1260} \\ &= 1 - \frac{10}{21} = \frac{11}{21} \end{aligned}$$

【一般選抜入試前期日程】〈1月29日実施(数学(1), 数学(2) 共通 問題II)〉

II 座標平面上に点 $O(0,0)$, $A(2\sqrt{3}, 2)$, $B(0,1)$ と放物線 $y = \frac{1}{2}x^2 - \frac{1}{2}$ がある。放物線上の点 P が、ある実数 t に対して $\overrightarrow{OP} = t\overrightarrow{OA}$ を満たす。

- (1) t の値を求めなさい。
- (2) $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{PQ} = \overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OQ} = 0$ を満たす点 Q の座標を求めなさい。

【解答例】

(1) $P\left(x, \frac{1}{2}x^2 - \frac{1}{2}\right)$ とおくと、 $\overrightarrow{OP} = t\overrightarrow{OA} = (2\sqrt{3}t, 2t)$ より

$$\frac{1}{2}(2\sqrt{3}t)^2 - \frac{1}{2} = 2t$$

整理すると、

$$\begin{aligned} 6t^2 - \frac{1}{2} &= 2t \\ 12t^2 - 4t - 1 &= 0 \\ (6t+1)(2t-1) &= 0 \end{aligned}$$

よって、 $t = -\frac{1}{6}, \frac{1}{2}$ 。

(2) $Q(a, b)$ とおく。 $\overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OQ} = (0,1) \cdot (a,b) = b = 0$ 。次に、 $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{PQ} = 0$ より

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OA} \cdot (\overrightarrow{OQ} - \overrightarrow{OP}) &= \overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OQ} - t|\overrightarrow{OA}|^2 \\ &= 2\sqrt{3}a + 2b - 16t = 0 \end{aligned}$$

$b = 0$ を代入して $2\sqrt{3}a = 16t$ 。

- $t = \frac{1}{2}$ のとき、 $a = \frac{4}{3}\sqrt{3}$
- $t = -\frac{1}{6}$ のとき、 $a = -\frac{4}{9}\sqrt{3}$

求める点の座標は

$$\left(-\frac{4}{9}\sqrt{3}, 0\right), \left(\frac{4}{3}\sqrt{3}, 0\right)$$

【公募推薦入試(総合評価型)】〈11月23日実施(数学(1) 問題Ⅲ)〉

Ⅲ k を 0 でない定数とする。初項 $a_1 = 3$ と次の漸化式で定まる数列 $\{a_n\}$ を考える。

$$a_{n+1} = k(a_n - 2) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

- (1) $a_{n+1} - c = k(a_n - c)$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) となるような定数が存在するための k の条件を求め、 c を k で表しなさい。
 (2) k が (1) で求めた条件を満たすとき、 a_n を k と n で表しなさい。
 (3) k が (1) で求めた条件を満たすとき、数列 $\{a_n\}$ が収束するための k の条件を求めなさい。

【解答例】

(1) 与式を展開すると、

$$a_{n+1} = ka_n + c(1 - k)$$

一方、元の漸化式は $a_{n+1} = ka_n - 2k$ 。係数を比較して $c(1 - k) = -2k$ 。定数 c が存在するためには $k \neq 1$ である必要があり、このとき

$$c = \frac{2k}{k-1}$$

(2) $b_n = a_n - \frac{2k}{k-1}$ とおくと、数列 $\{b_n\}$ は、初項 $b_1 = 3 - \frac{2k}{k-1} = \frac{k-3}{k-1}$ 公比 k の等比数列となるので、

$$b_n = \frac{k-3}{k-1} k^{n-1} \quad (n \geq 1)$$

したがって、 $a_n = b_n + \frac{2k}{k-1}$ より

$$a_n = \frac{k-3}{k-1} k^{n-1} + \frac{2k}{k-1}$$

(3) $\{a_n\}$ が収束することと、 $\{b_n\}$ が収束することは同値である。等比数列 $\{b_n\}$ が収束するための条件は、初項が 0、または公比 k について $-1 < k \leq 1$ であること。

- 初項が 0 のとき： $\frac{k-3}{k-1} = 0 \implies k = 3$
- 公比の条件：(1) より $k \neq 1$ 、また問題文より $k \neq 0$ なので、 $-1 < k < 0$, $0 < k < 1$

求める条件は $k = 3$ または $-1 < k < 0$, $0 < k < 1$ 。

【公募推薦入試(総合評価型)】〈11月30日実施(数学(2) 問題Ⅲ)〉

Ⅲ $0 < t < 1$ として、次の関数を考える。

$$f(t) = \int_0^1 |x(x-t)| dx$$

- (1) $x(x-t) < 0$ となる x の範囲を t を用いて表しなさい。
 (2) $f(t)$ を t の多項式で表しなさい。
 (3) $f(t)$ の最小値とそのときの t の値を求めなさい。

【解答例】

(1) $0 < t < 1$ ($t > 0$) なので、2 次不等式 $x(x-t) < 0$ を解いて、

$$0 < x < t$$

(2) 絶対値の中身は $x \in [0, t]$ で負、 $x \in [t, 1]$ で正となるので、積分区間を分けて外す。

$$\begin{aligned} f(t) &= -\int_0^t x(x-t) dx + \int_t^1 x(x-t) dx \\ &= -\left[\frac{x^3}{3} - \frac{tx^2}{2}\right]_0^t + \left[\frac{x^3}{3} - \frac{tx^2}{2}\right]_t^1 \\ &= \frac{t^3}{6} + \left(\frac{1}{3} - \frac{t}{2} - \left(-\frac{t^3}{6}\right)\right) \\ &= \frac{1}{3}t^3 - \frac{1}{2}t + \frac{1}{3} \end{aligned}$$

(3) $f(t)$ を微分すると、

$$f'(t) = t^2 - \frac{1}{2}$$

$f'(t) = 0$ とすると $t = \pm \frac{\sqrt{2}}{2}$ 。 $0 < t < 1$ の範囲では $t = \frac{\sqrt{2}}{2}$ 。 $f(t)$ の増減表は次のようになる。

t	(0)	...	$\frac{\sqrt{2}}{2}$	...	(1)
$f'(t)$		-	0	+	
$f(t)$		$\searrow$	極小	$\nearrow$	

増減表より、 $f(t)$ は $t = \frac{\sqrt{2}}{2}$ のとき極小かつ最小となる。最小値は、

$$\begin{aligned} f\left(\frac{\sqrt{2}}{2}\right) &= \frac{1}{3} \left(\frac{2\sqrt{2}}{8}\right) - \frac{1}{2} \left(\frac{\sqrt{2}}{2}\right) + \frac{1}{3} \\ &= \frac{\sqrt{2}}{12} - \frac{3\sqrt{2}}{12} + \frac{4}{12} \\ &= \frac{2 - \sqrt{2}}{6} \end{aligned}$$

3 出題内容の概要

※これは2026年度入試の出題内容です。出題分野の傾向や問題数は年度により異なる可能性があります。

試験日・日程	問題番号	配点	内容
11月23日実施分 公募推薦入試〔総合評価型〕	I 共通	40	数と式、三角関数、場合の数と確率
	II 共通	30	ベクトル
	III (1)	30	数列、極限
	III (2)	30	数列
11月29日実施分 公募推薦入試〔総合評価型〕	I 共通	40	指数関数・対数関数、場合の数と確率、ベクトル
	II 共通	30	いろいろな式
	III (1)	30	数列、極限
	III (2)	30	数列、微分・積分の考え
11月30日実施分 公募推薦入試〔総合評価型〕	I 共通	40	数と式、場合の数と確率、ベクトル
	II 共通	30	数列
	III (1)	30	微分法
	III (2)	30	微分・積分の考え
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	I 共通	40	三角関数、場合の数と確率、数列
	II 共通	30	ベクトル
	III (1)	30	積分法
	III (2)	30	二次関数、図形と方程式、微分・積分の考え
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	I 共通	40	二次関数、場合の数と確率、数列
	II 共通	30	三角関数
	III (1)	30	微分法、積分法
	III (2)	30	微分・積分の考え
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	I 共通	40	図形と計量、数列、ベクトル
	II 共通	30	数と式、場合の数と確率
	III (1)	30	図形と方程式、積分法
	III (2)	30	微分・積分の考え
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	I (1)	40	いろいろな式、積分法、平面上の曲線と複素数平面、場合の数と確率
	I (2)	30	いろいろな式、微分・積分の考え、場合の数と確率
	II 共通	30	図形と方程式
	III 共通	30	ベクトル
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	I (1)	40	数列、積分法、平面上の曲線と複素数平面
	I (2)	30	指数関数・対数関数、微分・積分の考え、数列
	II 共通	30	場合の数と確率
	III 共通	30	ベクトル
3月10日実施分 一般選抜入試後期日程	I 共通	40	いろいろな式、場合の数と確率、数列
	II 共通	30	ベクトル
	III (1)	30	図形と方程式、積分法
	III (2)	30	指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分の考え

龍谷大学の物理

●2025(2026入試)年度の理系型では、「一般選抜入試前期日程・中期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

1 これが傾向

物理学とは、多種多様な自然現象を少数の基本的法則から説明しようとする学問で、物理の基本的知識や手法は理工学の多くの分野を学ぶ基礎として重要です。私たちは大学での学修を進めて行くうえで必要な知識や学習態度を、皆さんがしっかり身につけているかどうかを調べるために適当な出題をするよう心がけています。つまり、教科書に載っている基本用語の意味を理解しているか、公式を納得して使えるか、問題の文章や図から状況設定を適切に読み取れるか、基本事項を正しく組み合わせて問題の意図

に沿った解答を導けるか、を調べようと考えています。

各試験日に「力と運動」、「電気と磁気」の分野から各1問ずつ、「熱と気体」と「波」の分野から1問の計3問を出題していますが、複数の分野を融合させた問題が出る場合もあります。多くの問題は、問題の解答を誘導する形で書かれた文章の途中に空所があり、そこに入る適当な数式、文章やグラフなどを選択肢から選ぶ形式になっています。複数の空所を組み合わせで答える問題や数値を代入して計算する問題が出る場合もあります。

2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	項目	配点	内容
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	I	力と運動	34	台車の運動
	II	電気と磁気	33	磁場を横切る導線に生じる誘導起電力
	III	波	33	弦の振動
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	I	力と運動	34	小球のはね返り運動
	II	電気と磁気	33	RLC 交流回路
	III	波	33	反射波・合成波
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	I	力と運動	34	定滑車
	II	電気と磁気	33	複数の抵抗からなる回路、導体の電圧と電流の関係
	III	熱力学	33	氷の融解
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	I	力と運動	34	剛体にはたらく力と力のモーメント
	II	電気と磁気	33	複数のコンデンサーからなる回路
	III	波	33	ニュートンリング
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	I	力と運動	34	円錐振り子
	II	電気と磁気	33	抵抗とダイオードを用いた回路
	III	熱と気体	33	気体分子運動論

3 出題の意図と対策

基本事項を理解して正しく使いこなせれば解答できる問題なので、教科書や問題集の標準的問題を偏りなく解くことが重要です。特に、数値を代入しての計算や、複数の式を変形して解答を導出する問題の正答率が例年低いので、問題の解答を眺めるだけでなく、実際にノートに書いて計算するようにして下さい。また、基本事項でもパターンからはずれた尋ね方をすると正答率が意外に低い場合があります。難問の解法パターンを記憶するより、標準的問題を自分で納得してきっちりと解けるようにするとよいでしょう。

こちらが用意した選択肢の中から正答を選んでもらう形式なので、自分で式の計算を始める前に選択肢を一覧し、どんな記号を使った答えが要求されているかを確かめておくとう率がよいでしょう。問題文の中に解答のヒントが含まれている場合もあります。文章を注意深く読む習慣をつけておくとうがよいでしょう。また、物理で出てくる記号にはすべて単位がついています。自分の得た式の単位が要求されている量の単位に一致しているかを確認すれば間違いを少なくできるでしょう。

龍谷大学の化学

●2025(2026入試)年度の理系型では、「公募推薦入試(総合評価型)」、「一般選抜入学試験前期日程・中期日程・後期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。なお、先端理工学部では課程により選択可能科目が異なりますので「入学試験の概要」からご確認ください。また、先端理工学部の「専門高校・専門学科・総合学科対象推薦入学試験」は同一試験日の問題を使用し、応用化学課程と環境生態工学課程の出願者のみが選択解答できました。

1 これが傾向

化学基礎・化学の全範囲から出題されます。基礎から標準的なレベルの知識を問うことに加えて、考える力や計算する力を試す問題もあります。大問Ⅰ～Ⅲには、「化学の基礎(物質の構成・気体の法則・生活に関連した化学)」、「物質の状態(平衡・反応)及

び無機物質の化学」、「有機化合物の化学」の分野からそれぞれ出題されることが多いですが、分野をまたいだ複合問題となる場合もあります。教科書に記載されている事項を基礎にして、発展的に考える問題が出題されることもあります。

2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	項目	配点	内容
11月23日実施分 公募推薦入試(総合評価型)	I	基礎化学	40	アルカリ金属元素、酸の性質と電離度
	II	無機化学および物理化学	30	エントロピー変化、硫黄の単体と化合物
	III	有機化学	30	アルキン、アミノ酸
11月29日実施分 公募推薦入試(総合評価型)	I	基礎化学	40	粒子の熱運動と物質の三態、原子の構造、放射性同位体による年代測定
	II	無機化学および物理化学	30	酸素とオゾン、酸化物
	III	有機化学	30	芳香族化合物の構造決定
11月30日実施分 公募推薦入試(総合評価型)	I	基礎化学	40	溶液の濃度、化学反応式
	II	無機化学および物理化学	30	金属元素、鉄の製造
	III	有機化学	30	油脂、セッケン
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	I	基礎化学	40	元素の周期表、相対質量
	II	無機化学および物理化学	30	ナトリウムの単体と化合物、カルシウムの化合物
	III	有機化学	30	エステル元素分析、サリチル酸の反応
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	I	基礎化学	40	金属結合、溶解度
	II	無機化学および物理化学	30	酢酸の電離平衡、塩化銀の溶解平衡
	III	有機化学	30	芳香族化合物の分離
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	I	基礎化学	40	酸と塩基、中和反応、非金属元素
	II	無機化学および物理化学	30	圧平衡定数、リチウムイオン電池
	III	有機化学	30	アルケン、アニリンの反応
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	I	基礎化学	40	純物質と混合物、酸化還元滴定、カルシウムの反応
	II	無機化学および物理化学	30	結晶の構造
	III	有機化学	30	有機化合物の特徴、異性体、ポリビニルアルコール
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	I	基礎化学	40	原子の構造、イオン、極性
	II	無機化学および物理化学	30	一酸化窒素の平衡反応、溶解度曲線
	III	有機化学	30	エステルの構造、糖類
3月10日実施分 一般選抜入試後期日程	I	基礎化学	40	元素の周期表、水酸化ナトリウムの製造、粒子の結合
	II	無機化学および物理化学	30	無機物質、系統分析
	III	有機化学	30	芳香族化合物の反応、構造

3 出題の意図と対策

教科書に記載されている基本事項を十分に理解することが大切です。基本的な物質・化合物の名称、化学式・構造式や性質については、しっかり覚えることが必要になります。さらに、重要な化学反応についても、よく理解することが大切です。また、実験方法やそれに用いる器具などについても理解しておいて下さい。

計算問題にも、きちんと取り組めるようになって欲しいと思います。また、油脂、糖、アミノ酸、タンパク質などの天然有機化合物は重要です。もし、高校の授業進度が遅い場合は、教科書を先取りして意欲的に勉強してください。

龍谷大学の生物

●2025(2026入試)年度の理系型では、「公募推薦入試〔総合評価型〕」、「一般選抜入学試験前期日程・中期日程・後期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。なお、先端理工学部では課程により選択可能科目が異なりますので「入学試験の概要」からご確認ください。

出題傾向と対策

1これが傾向

生物に関する幅広い基礎知識を問う出題となっています。農学に強く関係する「植物中心の生物学」や環境科学に強く関係する「生態学」に偏った知識ではなく、遺伝学、動物学、分類・進化学など、多岐にわたる基本知識を有していることを期待しています。教科書で表現すれば、「生物基礎」と「生物」の両方にわたって、幅広い分野から出題する傾向があります。

教科書に記載のある重要な言葉とその意味といった基本事項を多く出題しますが、一部その事の発見経緯や重要実験なども出題

されます。したがって、教科書の本文だけではなく、コラムや参考事項に一通り目を通し、理解していることが望まれます。応用力や考察力を評価するために、計算問題や考察問題、グラフ・表を読み解く問題なども取り入れています。応用力を問うているように感じるかもしれませんが、あくまで「基本重視」の上で、基本の考えについての知識と理解があれば解けるように配慮しています。

解答形式は、マークシート方式となります。

2出題内容の概要

※これは2026年度入試の出題内容です。出題分野の傾向や問題数は年度により異なる可能性があります。

試験日・日程	問題番号	項目	配点	内容
11月23日実施分 公募推薦入試〔総合評価型〕	1	細胞の構造と機能	25	細胞の構造や細胞小器官についての知識問題
	2	有性生殖と遺伝的多様性	25	環境応答と遺伝子の連鎖と組換えについて理解を問う問題
	3	動物の神経系	25	動物の神経系のしくみや興奮の伝わり方についての理解を問う問題
	4	植生の遷移と光合成	25	植生遷移や光合成グラフに関する基本的な理解を問う問題
11月29日実施分 公募推薦入試〔総合評価型〕	1	細胞の構造と機能	25	細胞の構造や細胞小器官についての知識問題
	2	動物の発生	25	動物の発生過程や減数分裂に関する理解を問う問題
	3	植物の発生	25	被子植物の配偶子形成と受精、遺伝の基本的な理解を問う問題
	4	個体群の構造と性質	25	個体群の基礎知識、個体数推定調査結果や生存表の読解力を問う問題
11月30日実施分 公募推薦入試〔総合評価型〕	1	代謝とエネルギー	25	光合成の反応系や特徴に関する基本的な理解を問う問題
	2	遺伝情報の発現と発生	25	バイオテクノロジーを中心に、遺伝子を扱う技術などに関する基礎的な問題
	3	植物の環境応答	25	花成について、環境と遺伝の両面から知識と理解を問う問題
	4	個体群と生物群集	25	様々な種間相互作用に関する知識問題とグラフを解読する問題
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	1	細胞の浸透圧と物質の輸送	25	赤血球の浸透現象の理解を問う問題と物質の輸送に関する知識問題
	2	遺伝情報の発現	25	遺伝情報の発現に関する基本的な理解を問う問題
	3	情報の伝達と体内環境の維持	25	内分泌系による代謝および水分調節に関する知識・考察問題
	4	生態系における物質循環	25	炭素と窒素の循環に関する知識問題と図から読み解く問題
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	1	代謝とエネルギー	25	呼吸を中心に代謝に関する理解を問う問題
	2	遺伝の法則	25	生殖方法と基本的な遺伝法則について理解を問う問題
	3	環境応答	25	植物の発芽と生長について理解を問う問題
	4	生物の進化	25	化学進化から生命誕生、環境形成作用に関する知識・考察問題
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	1	呼吸	25	呼吸についての基本的な理解を問う問題
	2	DNAの構造と複製	25	DNAの複製に関する知識問題と図から読み解く問題
	3	生体防御と免疫	25	生体防御と免疫についての基礎的知識を問う問題
	4	生態系の保全	25	生物多様性・生態系の保全および生態系サービスに関する基本的な理解を問う問題
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	1	光合成	25	光合成に関する知識問題と図表から読み解く問題
	2	遺伝子の発現調節	25	原核細胞の遺伝子発現調節に関する知識と理解を問う問題
	3	体内環境の維持	25	腎臓の構造と水分量の調節に関する基礎的知識を問う問題
	4	生態系における物質循環	25	有機物とエネルギーの移動に関する基本的な理解を問う問題
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	1	生命現象とタンパク質	25	酵素についての基本的な理解を問う問題
	2	遺伝情報の発現と発生	25	DNAの構造やDNAの複製に関する知識と理解を問う問題
	3	刺激の受容と感覚	25	視覚および聴覚を中心に刺激の受容と感覚に関する基礎的知識を問う問題
	4	個体群内の相互作用	25	個体群内の相互作用および個体群成長に関する知識問題と図から読み解く問題

試験日・日程	問題番号	項目	配点	内容
3月10日実施分 一般選抜入試後期日程	1	細胞	25	細胞に関する基本的な理解を問う問題
	2	発生と遺伝子の発現	25	動物の発生と遺伝子の発現に関する基本的知識を問う問題
	3	動物の行動	25	動物の生得行動と社会性昆虫に関する理解を問う問題
	4	進化のしくみ	25	進化のしくみに関する基本的な理解を問う問題

3 出題の意図と対策

生物の幅広い分野から、まんべんなく出題されます。得意不得意の領域を作らないことが大切です。各項目の基本事項をよく理解していることが重要な対策となります。ただし、教科書で説明されている語句をそのまま記憶するのではなく、関連分野のつながりをきちんと理解しておくことも大事です。また、その事項の発見経緯や実験事例なども併せて覚えておくといでしょう。龍

谷大学の生物の一つの特徴に、知識のみを問うのではなく、実験・観察の結果を読み取って計算させたり解釈させたりするような論理的思考を必要とする出題があげられます。基本的な計算問題をマスターしておくとともに、教科書の「探求」や「資料」などの項目も併せて学習し、「なぜそうなるか」をよく考え、論理的思考力を養っておきましょう。